

— 特 集 —

素敵に今を暮らす

～小さな声をチカラに変えて～

ひだか社協だより

2019.9

HIDAMARI

ひだまり



No.115

しゃきょう 社協って、なんだろう？



社会福祉協議会は、略して「社協(しゃきょう)」と呼ばれています。

社協は、いろんなことに取り組んでおり、一口で説明することも難しいのですが、分かりやすく伝える努力をすることも必要です。そこで今回は、日高市社協マスコットキャラクターのかわせみくんに説明をお願いしました。



地域の状況を見ると、高齢の一人暮らしの人や、ご夫婦だけ、という世帯が増えていきます。高齢でお元気な人も多いのですが、一方で、病気をなどを経験し、体力や気力が落ちてしまう人もいます。そのようなかたに、暮らしの困り事などを伺うと、通院や買い物などの外出や、庭の片付け、家族や自分が認知症などで判断できなくなったり、死後などが心配といった声を

新会長就任ごあいさつ

社会福祉法人

日高市社会福祉協議会

会長 大沢 弥わたる



このたび、去る6月27日の理事会において新会長に選定されました大沢弥です。鯉沼文夫前会長の後を受け、社会福祉協議会の会長職を精一杯努めてまいり所存です。ので、よろしくお願い申し上げます。

と、少子・高齢化や核家族化などにより、いままで同様のコミュニティを維持することが難しくなっているとの声が聞かれます。一方で、福祉や災害対策、防犯、学校運営など、地域コミュニティへの期待が多岐にわたって高まっています。

私たち社会福祉協議会は、地域の皆様とのコミュニケーションをよりいっそう密にして、安心のまちづくりが実現できるよう、地域の諸課題と向き合っていますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



地域の中で支え合うことがたいせつですが、そのためには、人と人が「つながる」

ことが必要です。そのつながりが、誰かを支えるチカラに変わります。そして、地域の中のつながりのチカラが、地域の暮らしに欠かせないという「タカラ」に変わることで、人はよりいっそう、誇りをもって、その人らしく、いきいきと暮らせるものです。私たち社協は、人と人がつながることができるような取組を通じて、より安心して住みやすい地域にするお手伝いをしています。



地域を支える人も
財源も、地域が支えて
いるんだね

2.地域づくり

- ・地域支え合い
(地域おたすけ隊・地域商品券)
- ・サロン活動
- ・多世代型の居場所づくり(コミュニティ食堂)
- ・ボランティアセンター
- ・協議体や圏域型地域ケア会議
- ・福祉教育

活動の財源は…



1.個別の問題の対応

- ・生きがい・健康づくり
- ・福祉サービス利用や権利擁護
- ・就労の援助
- ・複合的な生活問題 など
→コミュニティソーシャルワーカー
(CSW)などの専門職の配置

社会福祉法人
日高市社会福祉協議会



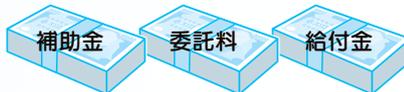
問題に対応する
職員の人件費や
サービスに関わる経費は、
補助金、委託料、
給付金



3.各種サービス

- ・ヘルパーステーションこまの郷(介護保険事業)
- ・総合福祉センター「高麗の郷」(市指定管理事業)
- ・こまのさと作業所(障がい福祉サービス)
- ・ファミリーサポートセンター
- ・高麗川地域包括支援センター
- ・障がい者就労支援センター
- ・障がい者相談支援センター
- ・自立相談支援センター

財源は…



いろいろなことを社協は行っているけれど、この多機能な感じは、みなさんの身近にあるスマートフォンに似ています。



社協が取り組む福祉事業とは

社会福祉法人日高市社会福祉協議会 組織と役員・評議員 (令和元年6月27日現在)



いろいろな人が
支えているんだね

●理事(15名)

- | | |
|-------|-------------------|
| 会 長 | 大沢 弥(学識経験者) |
| 副 会 長 | 平井 敬(区長会) |
| 〃 | 植木八重子(赤十字奉仕団) |
| 〃 | 北田 文子(民生児童委員協議会) |
| 常務理事 | 岩淵 草太(行政) |
| 理 事 | 平沼 弘志(区長会) |
| 理 事 | 金子 孝一(区長会) |
| 理 事 | 小峰 正次(民生児童委員協議会) |
| 理 事 | 石井 照代(社会福祉施設) |
| 理 事 | 結城 君枝(ボランティア活動団体) |
| 理 事 | 加藤 光夫(障がい者団体) |
| 理 事 | 久保 芳雄(障がい者団体) |
| 理 事 | 山田 一繁(市議会) |
| 理 事 | 山川 治美(教育委員会) |
| 理 事 | 平沼美佐江(学識経験者) |

●監事(2名)

- | |
|------------------|
| 杉山 博行(民生児童委員協議会) |
| 菊間 敦子(学識経験者・税理士) |

●評議員(37名)

- | | | |
|---------------|---------------------|----------------------|
| 清水 完三(区長会) | 長澤 義之(法人会) | 白井 威(ロータリークラブ) |
| 神田 誠治(区長会) | 飯野 昌弘(農業協同組合) | 加藤 純一(ライオンズクラブ) |
| 丹下 清(区長会) | 金子 伸昭(PTA連合会) | 熊田 栄一(老人クラブ連合会) |
| 吉川 繁(区長会) | 島村 満夫(子ども会育成会連絡協議会) | 稲浦 巖(市議会) |
| 新井 正廣(区長会) | 横手 幸江(民生児童委員協議会) | 小泉 光枝(保護司会) |
| 横田 幸夫(区長会) | 前嶋謙一郎(民生児童委員協議会) | 水村 賢司(医師会) |
| 市川 英一(区長会) | 岡野 博(民生児童委員協議会) | 土肥 紋子(歯科医師会) |
| 吉野 和夫(区長会) | 小高今朝治(民生児童委員協議会) | 安原 光治(人権擁護委員会) |
| 小峯 節子(婦人会) | 島田 信男(民生児童委員協議会) | 新堀 幸子(スポーツ推進委員連絡協議会) |
| 岡野 はつ(婦人会) | 大沢 宗明(行政) | 寒川左智子(学識経験者) |
| 新井 薫(赤十字奉仕団) | 西 長武(行政) | 宮崎 國男(学識経験者) |
| 佐藤美津子(赤十字奉仕団) | 高木 祥子(社会福祉施設) | |
| 新堀 寛(商工会) | 田中 悠子(ボランティア活動団体) | |



ダイジェスト
だね

地域福祉という船をすすめる 航海図ができたんだ

第3次日高市地域福祉計画・地域福祉活動計画



福祉サービスと 地域福祉活動

介護などで生活問題が現実のものになった時に、私たちは福祉サービスを利用しますが、介護保険や行政サービスなど、公的に提供されるサービスは、公平でなければなりません。でも、同じ市内であっても、住んでいる地域の地理的な環境、まちが作られてきた過程などで、困り事や福祉サービスのニーズが異なるため、その地域にあった福祉活動が必要となります。

には、これらを横につないでいくことが有効です。住民に身近な生活の範囲(日常生活圏域)といえます。(における福祉の取組や、さまざまな制度をつなぎ、解決していくこととする営みを「地域福祉活動」といい、地域福祉活動を住民、関係者、行政が一体となって進めていくために立てた計画が、今回の「第3次日高市地域福祉計画・地域福祉活動計画」です。

地域福祉活動の神髄

地域福祉活動は、行政サービスのよきな一律、公平よりも、個別的な対応を重視します。「ここに住んでいる私たちが、このことを問題と考えて解決したい」と行動しているという、地元における当事者意識が、地域福祉活動の神髄といえます。また、お互いさま、といった福祉サービスの「受け手」と「支え手」が固定されないような「地域における共生」といった文化を養っていくことも重要です。

人口減少と 地域福祉活動

我が国は、人口減少の局面を迎えています。人口減少が進むと、人材や財源の面で、維持や拡大が困難となるサービスが出てくるのが考えられます。そのような中で、地域福祉活動の充実を図ることで、身近な地域で多くの安心をもたらすことにつながります。ぜひ一緒に地域福祉を進めましょう。

(計画書は市ホームページでご覧になることができるほか、市役所及び総合福祉センター「高麗の郷」で閲覧することができます)

令和元年度事業計画

第3次日高市地域福祉計画・地域福祉活動計画にもとづき、計画で示す次の3つの重点取組を進めます。→が具体的な取組

重点取組1 誰もが役割を持ち、生きがいと尊厳を持って活躍できる場づくり

- ①地域福祉の担い手育成・支援→地域おたすけ隊の拡大
- ②アクティブシニアの社会参加促進→ボランティアサポーターの強化
- ③地域での居場所づくり支援→サロン活動の拡大

重点取組2 「他人事」ではなく「我が事」として考える地域づくり

- ①地域福祉意識の普及啓発促進→福祉教育、イベントで地域福祉活動をもっと身近なものに。
- ②地域における見守り体制の強化
- ③地域支え合い体制の構築→小中学校区を「住民主体地域活動圏域」と位置づけ、地域住民が主体的に生活課題を把握し、解決を図る組織として「地域福祉推進組織」の設置

重点取組3 人と人、そして組織をつなぐ包括的な支援体制づくり

- ①相談体制強化→相談支援包括化推進員の配置
- ②関係機関相互の連携強化→関係機関との連携強化
- ③権利擁護準備事業→法人後見業務などに関する対応の検討

それを元につくった
今年の計画が
これです。





みなさんのご協力に感謝申し上げます。

～平成30年度 決算と事業報告～

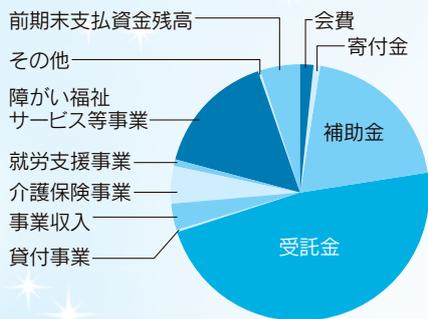
平成30年度 日高市社会福祉協議会 決算概要

●決算額の昨年度との比較

(単位:円)

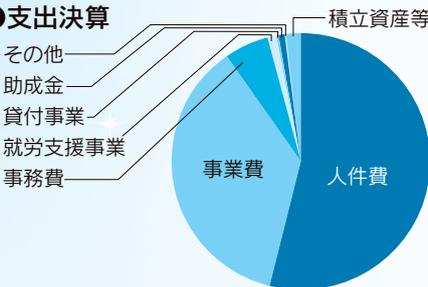
	30年度決算額A	29年度決算額B	差異A-B
収入総額	283,356,816	273,059,369	10,297,447
支出総額	270,500,363	259,618,231	10,882,132
支払資金残高	12,856,453	13,441,138	△584,685

●収入決算



	30年度A	29年度B	差異A-B
会費	5,291,500	5,293,000	△1,500
寄付金	1,914,779	1,799,442	115,337
補助金	56,981,034	52,595,671	4,385,363
受託金	135,170,998	132,546,654	2,624,344
貸付事業	61,000	60,666	334
事業収入	9,801,850	9,688,400	113,450
介護保険事業	13,029,938	8,768,893	4,261,045
就労支援事業	2,779,537	2,662,811	116,726
障がい福祉サービス等事業	43,936,624	42,617,891	1,318,733
その他	948,418	1,051,554	△103,136
施設整備等	0	0	0
積立資産取崩収入他	0	3,303,640	△3,303,640
前期末支払資金残高	13,441,138	12,670,747	770,391

●支出決算



	30年度A	29年度B	差異A-B
人件費	146,404,881	138,671,375	7,733,506
事業費	98,578,883	93,565,147	5,013,736
事務費	15,579,937	16,495,347	△915,410
就労支援事業	2,726,107	2,649,602	76,505
貸付事業	13,000	48,000	35,000
助成金	2,592,200	1,988,300	603,900
その他	6,150	28,465	△22,315
施設整備等	0	2,174,364	△2,174,364
積立資産等	4,599,205	3,997,631	601,574

平成30年度の成果と課題と事業報告

社協は地域住民のみならず、はじめ、関係者、行政の参加と協力をいただきさまざまな取組を行っています。ここでは、平成30年度に取り組んだものの中から、特に大事な取組や成果について、報告いたします。

地域福祉を進める計画を策定！

平成29年度、30年度の2ヶ年をかけて、日高市と協働して第3次日高市地域福祉計画「地域福祉活動計画」を策定しました。(P4参照) また、あわせて年度ごとの工程表(ロードマップ)を作成し、計画を具体的に進めていくための指針としました。

地域援助の専門職「CSW」配置！

地域住民が主体的に地域福祉活動に参加できるように、個別の問題解決と地域づくりを支援する「コミュニティソーシャルワーカー(CSW)」を配置しました。他の業務との兼務ではありますが、地域のみなさまに頼られる存在となるよう、様々な地域の現場をたずね、ご意見を伺いました。

地域での新たな居場所づくりを応援

地域における新しいカタチの居場所として全国的にも注目されている取組である「コミュニティ食堂」。子どもから高齢者まで、多様な世代の交流や、孤

認知症への理解と支援

認知症の人やその家族の安心を確保するため、地域包括支援センターの運営を通じ、認知症サポーター養成講座や認知症カフェ(オレンジカフェ)など、認知症への理解促進を図りました。

福祉サービスの充実

訪問介護事業やこまのさと作業所、総合福祉センター「高麗の郷」の運営の強化を図り、福祉サービスを必要とする人や来館者へ安心、安全にサービスの提供を図りました。



集らす 第2回

令和の「今」を生きる人たちに焦点をあて、紹介する特集の第2弾。

今回は、「地域のつながり」をテーマにしてみました。

少子・高齢化が着実に進む中、コミュニティの力が弱まっているとも言われます。

そのような中、地域の高齢化の問題を自分たちで考え、行動しようと

2017年に立ち上げた「相原クラブ」のみなさんにお話を伺いました。

(内容を一部再構成しています)

相原クラブの発足のいきさつを教えてください。

森田さん：星さんの呼びかけで、地域の高齢者の問題は自分たちで考えていこうと、多くの人たちが賛同してくれました。もともと、地域の行事などで住民同士の交流はありましたが、63名もの人たちが加入したいと申し出てくれました。必要性があったのだと思います。

星さん：高齢化が進むということが背景にありました。高齢になると、いろんな面で配慮や支えが必要となることが増えるものです。これは、区だけでは対応しきれない問題ではありません。

相原クラブはどのような活動をされているのですか？

生田目さん：グラウンドゴルフ大会やお花見のような季節行事、桜のアーケードづくりといった地域環境保全活動、気楽に交流できる「ふれあいトーク」、そして、最近

相原区 (R1.7.1現在)

人口: 634人

世帯数: 279世帯

高齢化率: 21.77%

☆JR川越線武蔵高萩駅から北東に位置する。地域の一部は区画整理地内にあり、若い世代の転入も多い。



相原区、子ども会、相原クラブ共催のいもほり大会 (H30年10月)



【上の写真】 左: 生田目副会長 右: 森田会長



【下の写真】 左: 波形副会長 真中: 佐藤会計 右: 星幹事長

は、見守りと防犯を兼ねたパトロールなどを実施しています。パトロールは結果を記録して、メンバーと情報共有しています。そこで「困りごと」を見つけて、自分できらお手伝いをすることもあります。

佐藤さん：私は会社勤めで、地域の人たちとの交流は少なかったのですが、ソフトボールチームや夏祭りなどで活躍していた生田目さんは知っていました。生田目さんはパワフルでイベントの企画や盛り上げるのが得意なんです。個々の得意なことを生かして活動できるのがいいですね。

波形さん：やれる人ができる範囲でやればいい、という感じで活動しています。なので、強制感はないんです。また、内容によっては負担が集中しないように分担しています。「無理をしない」ということが相原クラブのモットーです。



ふれあいトークでの1コマ

素敵に今を暮

～小さな声をチカラに変えて～

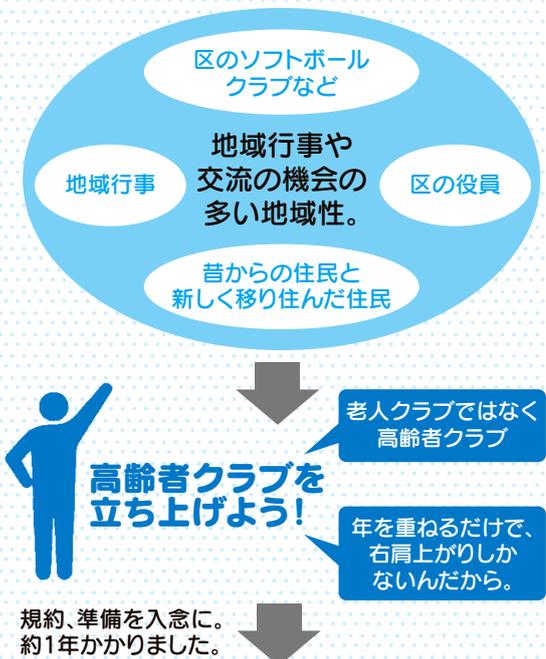
トリーですが、これは「無責任」ではなく、むしろ活動を長続きさせるために必要なことなんです。

活動をしていくうえで、大切にしていることは何ですか？

星さん：誇りを持つ、ということが大切なのだと思います。高齢者が、自分たちの楽しみのためだけに集まっているのではないんです。地域に困りごとがある、それを解決する、そして喜ばれる、それが自分自身の誇りにもなるし、地域への愛着にもつながる。そのようなつながりを持てる機会が、私たちのクラブだと思っております。

森田さん：元気で活発な人だけでなく、いろんな人が活動に参加できる機会を用意しています。声の大きい人だけでなく、みんなの声を拾っていききたいと思っています。そして活動を続けるための後継者の育成が大切です。私たちの次の世代に、きちんとバトンを渡していけるように、意識して取り組んでいます。

相原クラブ 結成から活動の流れ



相原クラブ結成

呼びかけ人は28名。60名を超える方が会員となりました。

相原クラブ 3年目



気楽に

1人のリーダー主体ではなく、みんなで意見をだして

楽しむことも目的だから

無理のないスケジュールで

編集後記

皆さんの、地域への熱い思いと、自信と誇りを持って地域全体の為に活動していこうという気持ちが伝わってきました。インタビューは1時間半を超え、たくさんお話を伺わせていただきました。今回の特集では、一部しか紹介できなかったため、日高市社会福祉協議会のホームページ(<https://www.hidakashi-shakyo.or.jp/>)のお知らせにインタビューの全文と相原クラブニュースの最新号を掲載いたします。ぜひご覧ください。

総会で意思確認。役員会で形にする。

課題は放置しないで話し合おう

相原クラブに入ってよかったなあと思えるように



かみせみ REPORT

彩の国ボランティア体験プログラム 2019

今年は、126名の申し込みがあり、全44メニューのなかから希望のボランティア体験に参加しました。

保育体験や高齢者・障がい者施設等のイベント補助、環境保全活動、コミュニティー食堂のボランティアなど、様々な活動に汗を流しました。



高齢者施設での夏祭り

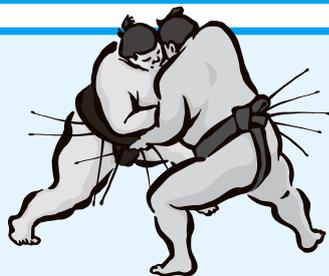


車いすバスケット、スラローム体験

ファミリーサポートセンター 協力会員講習会が無事終了しました!

6月11日から7月2日まで講習会が行われました。小児科医や保健師、保育士等の講話を聴きました。4日間の講習を通して、参加者一人ひとりが協力会員として必要な知識、心構えを学びました。

今年度は協力会員7名、両方会員1名が新たに登録しました。ファミサポの活動に関心はあるけど、登録はまだ…というかたは、ぜひ来年の講習を受講ください!



大相撲日高場所

こまのさと作業所では、4月25日の大相撲日高場所を観戦してきました。みんな生で相撲を見ることはもちろん初めてで、大きな力士が繰り広げる臨場感あふれる迫力ある取組にとっても感動しました。

また会場でお会いしたかたから、横綱白鵬、鶴竜、稀勢の里のサイン入り手形をいただくという感動的なエピソードもあり、一生に一度の忘れられない思い出になりました。これからもますます仕事を頑張っていこうと決意を新たにしました。チケットを寄付していただいたかた、誠にありがとうございました。

寄付受け入れ状況(平成31年1月26日～令和元年7月31日)

※敬称略・順序不同

寄付者名	金額(円)	寄付者名	金額(円)
パステル音楽館 代表 小田威臣	20,000	さかえカラオケ愛好会 代表 栄伸久	7,900
(株)日高カントリー倶楽部 代表取締役社長 高橋正孝	600,000	佐藤美津子	6,608
一箱古本市	500	斉藤澄子	10,000
(株)高麗川カントリー倶楽部 取締役社長 荒井隆男	89,100	日高台区(会費募集時寄付分)	12,650
(公社)川越法人会日高地区会 会長 吉澤俊明	10,000	原宿区(会費募集時寄付分)	9,400
日高市福祉交友会	8,244	横手台区(会費募集時寄付分)	28,202
関東西濃運輸労働組合川越支部	80,000	匿名5件	209,350
高麗盆栽愛好会	5,000		

【金銭以外の寄付】

- ①西澤正夫 大相撲日高場所チケット 50枚(こまのさと作業所利用者及び家族へ)
- ②高麗川赤十字奉仕団 タオル(社会福祉施設等へ)

Event Information
イベント情報

第15回 あいあいまつり ※雨天決行

- 開催日** 10月5日(土) 10時～15時
- 場 所** 日高市総合福祉センター「高麗の郷」
- 内 容**
 - ・体験等のブース
 - ・模擬店(食べ物のお店も多数出展)
 - ・ステージ発表
 - ・フリーマーケット
 - ・ふわふわ(エア遊具) 他



おとなフェスタ ひだか

- 開催日** 11月4日(月)※祝日 10時～15時30分
- 場 所** 日高市総合福祉センター「高麗の郷」
- 内 容**
 - AM** 市内ボランティア団体による「ボランティア・市民活動見本市」
 - PM** クイズ王でお馴染みの漫画家「やくみつる」さんが日高に!
「やくみつるさん大講演会」



第33回 日高市社会福祉大会

- 開催日** 12月8日(日) 13時～15時
- 場 所** 日高市総合福祉センター「高麗の郷」 研修室
- 内 容** 地域福祉に貢献されたかたがたの表彰、小中学生作文コンクールの表彰



講演会

不登校・ひきこもりが終わる時

—体験者が当事者と家族に語る、理解と対応の道しるべ



日 時: 11月10日(日) 13:30~15:50
 場 所: 毛呂山町福祉会館「ウイズもろやま」2階
 講 師: 丸山康彦 先生(ひきこもり体験者/民間非営利相談機関ヒューマン・スタジオ代表)
 定 員: 80名(申込順) 入場料無料
 対 象: ひきこもり当事者、家族、支援者
 申込み: マロウドの会 ☎090-5575-7054(齊藤)/080-5512-3734(奈良)
 埼玉県坂戸保健所 保健予防推進担当 ☎049-283-7815

楽 笑 介 護 の す す め

在宅で介護を必要とする人が増えている中、介護の負担軽減のため基礎的な知識や技術を楽しく学びましょう。

第1回	9月17日(火) 10:00~15:00 大川学園医療福祉専門学校(飯能市下加治345)	介護についての心がまえと介助の基本動作について 講師: 大川学園医療福祉専門学校 笹岡勉さん、星野成美さん
第2回	10月30日(水) 10:00~15:00 日高市総合福祉センター「高麗の郷」	簡単介護食づくりと口腔ケア講習 講師: ホームヘルパー 歯科衛生士
第3回	11月29日(金) 10:00~15:00 日高市総合福祉センター「高麗の郷」	認知症についてと介護者サロンについて 講師: 地域包括支援センター職員 介護者の会

対 象: 日高市在住または在勤で、在宅での介護に関心のある人
 定 員: 20名
 費 用: 無料
 申込み: 電話または直接右記まで 日高市社会福祉協議会 地域福祉係 ☎042-985-9100



やってみよう! 頭の体操

問題 マスの中の文字を
組み合わせると
日高市名物が
3つできます。



沙	ル	一	リ
高	ン	ブ	曼
一	珠	川	マ
麗	口	ベ	華

答え

				リ	
				華	
		川			



※答えはP11左下

金婚祝い事業の廃止について

歳末たすけあい募金を原資とし、ながきにわたり、日高市社協では結婚50年を迎えたご夫婦のかたに、金婚お祝い事業を実施してきましたが、時代の変化により地域の見守りの一環としての目的が希薄となったことなどの理由から、事業を廃止することになりました。

※お掃除おたすけ隊等は、昨年同様実施を予定していますので、今後とも、歳末たすけあい募金含め、共同募金についてご理解ご協力をお願い申し上げます。
 ※各要件があります。

ボランティア入門講座 を開催します。

ボランティア活動とは？自身のキャリアデザインを見直し考える、自分に合ったボランティア探しのための講座です。すでに活動されている人も初心に帰る機会に。

9月12日(木) 13:30～16:00

日高市総合福祉センター「高麗の郷」生涯学習室

講師：文京学院大学 准教授 田嶋英行氏

費用：無料

定員：20名程度

申込み：9月10日(火)までに電話で、
日高市社会福祉協議会 地域福祉係
☎042-985-9100まで

ガイドヘルプボランティア 養成講習会

視覚障がいの方の外出のお手伝いについて、技術や方法、視覚障がいについて学びます。

9月19日(木) 10:00～12:00 (講義・実習)

9月26日(木) 10:00～12:00 (講義・実習)

9月27日(金) 9:30～15:00頃(屋外実習等)

費用：無料(屋外実習で交通費実費負担)

定員：20名

申込み：日高市社会福祉協議会 地域福祉係
☎042-985-9100

日高市ボランティアサポーター養成講座

～4週連続講座で7人の講師から学ぶボランティアの深み～

■開催趣旨 これまでの「働く」から、これからの「ボランティア」へ気持ちを変化させる方法やボランティアの基礎、ファシリテートの手法など「つながりをつくる」ために必要なスキルや考え方を身に付ける事ができます。

■日程及び内容 ①10月1日(火) 13:30～16:00

「仕事」から「地域デビュー」へ！ボランティア活動へ参加したきっかけは？

講師：地域デビュー楽しみ隊 高荷和久さん

②10月8日(火) 13:30～16:00

ボラサポの先輩から学ぶ実践と最新のマッチングシステム日高ボランティアネット

講師：ボランティアサポーター 山口じゅんさん、岩木隆夫さん、江下佳代さん

日高市ボランティアセンター 吉田心弥(社会福祉士)

③10月15日(火) 13:30～16:00

リーダーに必要なスキルは？おとうさんおかえりなさいパーティー主催者。

講師：共働のまちづくりファシリテーター 吉永鴻一さん

④10月23日(水) 13:30～16:00

ボランティア活動支援アドバイザーから学ぶボランティアの基本とつながる・つなげる手法。

講師：NPO法人ハンズオン埼玉代表理事 聖学院大学非常勤講師 川田虎男さん(社会福祉士)

■会場 日高市総合福祉センター「高麗の郷」生涯学習室

■対象 市内在住、在勤のかた

■参加費 無料

■定員 30名

■申込み期間 9月2日(月)～9月27日(金)

■申込み先 日高市社会福祉協議会 地域福祉係 ☎042-985-9100

4講座中2講座受講で講座修了証を発行します。修了者には、具体的な活動があります!!

認知症サポーター養成講座

*“認知症”の基礎知識、認知症の方の気持ちなどについて学びます。

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせよう地域住民の応援者になりましょう*

日にち	時間	会場	問合せ
10月15日(火)	14:45～16:15	高麗の郷 研修室	長寿いきがい課 (☎042-989-2111)
11月12日(火)			
12月12日(木)	10:00～11:30	高麗公民館	高麗地域包括支援センター (☎042-982-0111)
令和2年1月17日(金)		高麗川南公民館	高麗川地域包括支援センター (☎042-984-1362)
2月15日(土)		高萩北公民館	高萩地域包括支援センター (☎042-984-3001)





あなたの疑問に直球回答

10月から赤い羽根共同募金がはじまります。

Q 学校で募金をしたら羽根を貰いました。
募金したお金はどう使われているのでしょうか？
(中学生・男子)



A 赤い羽根共同募金は、第二次世界大戦後の復興の「国民たすけあい運動」として始まりました。

現在は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、「じぶんの町をよくするしくみ」として取り組まれています。

募金額の約半分は、社会福祉協議会に配分され、本市では「福祉スポーツ大会」や「外出困難なかたへの理美容サービス補助」などの地域福祉活動の支援に活用しています。

残りの半分は、県内の社会施設・団体の整備や、災害時のボランティア活動の支援に活用されており、赤い羽根共同募金の支援の範囲が広がっていることが分かります。

今回は、ふだんあまり触れることの少ない、地域福祉活動以外の活用先についてご紹介します。

社会福祉施設や災害時の活用術をご紹介します



同仁学院の自動車購入の助成 (平成26,27年度)

市内で児童養護施設「あいの実」などを運営している社会福祉法人同仁学院(関根美智子理事長、日高市高麗川)は、さまざまな家庭の事情で養護を必要とする子どもたちの養育等に取り組んでいます。

同仁学院では助成を受けて、子どもたちと職員がみんなで一緒に移動できる10人乗りのワゴン車を購入しました。児童養護施設で暮らす子どもたちの生活にとって、日常生活での足は欠かせません。ワゴン車は、子どもたちとの買い物や、長期休みに海や山へでかけるレクの際に活躍しています。子どもたちを乗せた車内は、にぎやかな声にあふれています。

※児童養護施設で暮らす子どもたちの大学等への進学は、経済面などから大きな壁があります。埼玉県共同募金会では、「埼玉県内の児童養護施設の子どもの進学費用を応援」するテーマ型の募金(赤い羽根進学費用応援プロジェクト)も受け付けています。同仁学院では、昨年2名、一昨年2名が支援を受け、大学や短期大学、専門学校へ進学しました。

災害ボランティアセンターの運営資金 (災害等準備金)

共同募金会では災害発生時に義援金を受け付けています。それ以外にも、被災地でのボランティア活動を支援するため、毎年共同募金の3%を災害等準備金として積み立てています。共同募金は都道府県の区域を単位に行われている運動ですが、大規模な災害が発生した場合には、都道府県域を超えて全国の共同募金会が災害等準備金を拠出しあい、被災地を支援します。



東日本大震災では、本会が被災地へボランティアバスを運行しました。(宮城県石巻市、2011年7月)